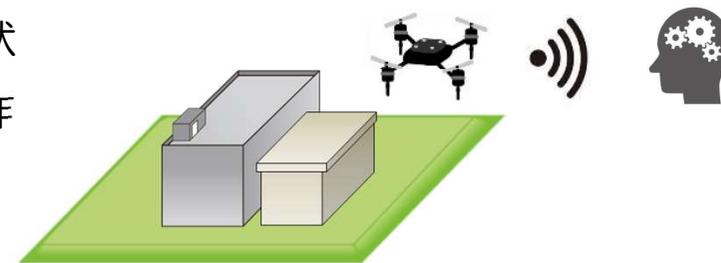


神戸1 画像解析やAI技術などを活用した施設管理の効率化

求める技術：⑦

1 課題を抱える業務の内容

配水場やポンプ場など、多くの施設の巡回を行い、定期的に構造物等の状態把握を行っています。点検結果は現地で帳票に記入し、帰庁後に電子化作業を行っています。



2 課題の詳細

管理する施設数が多く、今後職員数も減少していくため、人の目に代わる効率的な点検ツールが必要と考えています。また、施設を延命化していくため、点検結果をわかりやすくデータベース化し、施設の健全度評価と補修・修繕などの予防保全措置を適切に実施する必要があります。

3 こんな技術を求めています！

- ▶ タブレットやドローンなどで撮影した画像の解析技術（クラック、浮き、露筋、錆等）
- ▶ AIによる健全度評価及び予防保全措置
- ▶ 点検調書のデータベース化（記録表、写真、変状図等の一元管理ツール）
- ▶ クラウドサーバー上でのデータ管理（地下50mほどの立坑内でも、4G以上のモバイル通信接続が可能）

4 技術の導入により代替が期待される業務

施設の点検業務

5 事業規模・業務量

主要施設：貯水池-3箇所、浄水場-4箇所、配水場-127箇所、ポンプ場-49箇所